

平成 29 年 6 月 5 日発行

弥彦村教育委員会広報紙

第1号



編集・発行 弥彦村教育委員会

TEL (0256)94-1021

FAX (0256)94-3232

〒959-0392 新潟県西蒲原郡弥彦村大字矢作 402 番地

弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子ども

## 「弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子ども」の具現を目指して

教育長 林 順一

平成29年度も2ヵ月が過ぎました。保育園・小学校・中学校ともに元気な子どもたちの姿、真剣に学ぶ姿が見られています。教職員の皆様の日々の御尽力に心から感謝申し上げます。

さて、あらためて今年度の主な教育委員会の動きを紹介します。1番大きなことは、保育園の業務を教育委員会に移管したことです。その理由は次の通りです。

弥彦村の子どもたちは、1小学校1中学校という環境の中、義務教育9年間を同じ仲間と学校生活を送ります。したがって、この環境を今以上に強みとしていくには、小学校と中学校のつながりを強化するとともに、保育園を卒園した幼児がスムーズに小学校生活に適應できるよう、そのつながりに配慮していく必要があります。そこで、保育園、小学校、中学校のつながりに目を向けた教育（「保・小・中一貫教育」）を目指すこととしました。

この取組を推進していくに当たっては、学校、家庭、地域、行政が問題意識や方向性を共有していくことが大切であると考えています。期間としては、今後3年間をかけて、教職員、地域の皆様の御意見をうかがいながら、焦らずに取り組みます。取組状況については皆様にも分かりやすい形で順次、内容を紹介していきます。

初年度となる今年度は、次のような委員会を設けて取り組みます。詳細については、今後広報紙等でお知らせいたします。

- ① 子ども一人一人に応じた一貫した支援の在り方など保・小・中のつながりを検討する委員会
- ② 小学校入学時の活動の在り方など保・小のつながりを検討する委員会
- ③ 「特別の教科 道徳」授業実施（小が平成30年度、中が平成31年度全面実施）に向けた評価の在り方など小・中のつながりを検討する委員会

本年度、前述の内容を含め、弥彦村総合教育会議で決定した目指す子ども像「**弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子ども**」の具現を目指します。そのために、次の5つの重点を基に、各学校園の支援に努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



# 今年度の重点事項

## 1 弥彦村の特色を生かし、地域とともにある学校づくりの推進

村では、これまで以上に、学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたち一人一人の学びを支援できるように学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の平成30年度導入を目指しています。そこで、今年度は、**弥彦村の教育を考える機会として、11月18日（土）に『弥彦村教育フォーラム（仮称）』を開催する予定**です。時期が近づきましたら、村民の皆様にも御案内をお届けいたします。



## 2 保・小・中一貫した教育の推進

保育園や小・中学校が目指す子どもの姿や重点的な指導内容を共有し、一体となった取組が行えるように支援します。小1プロブレム、中1ギャップという言葉があるように、学校種の違いは子どもたちに大きな負担となることが言われています。その負担をできるだけ減らし、**なめらかに学校間を接続する**にはどうしたらよいかを検討してまいります。そのためには、教職員間の交流を促進することが重要です。昨年度は、小学校の先生が夏休みに保育園の様子を参観に行くという研修が実施されました。今年度も、保・小・中のなめらかな接続に関する研修を進めたり、各種委員会を立ち上げたりするなどの取組を行います。

## 3 弥彦愛を軸としたキャリア教育の充実

小・中学校では、ふるさと学習を軸としてキャリア教育を推進しています。これらが、一層子どもたちの力を高める活動となるように、小学校・中学校・地域・行政がどのように連携したらよいか検討していきます。

## 4 一人一人を大切にしている教育の推進

子どもたち一人一人に合った教育ができるだけ早期から行えるよう、**専門機関との連携体制の構築**を推進します。また、子どもたちが安心して学べる学校環境を整備するべく、行政としてもスクールソーシャルワーカーを配置し、子どもたち・保護者のための窓口相談を充実させます。

## 5 「生きる力」の育成を目指した教育の推進

新学習指導要領完全実施を見据えた各校園の準備を支援していきます。タブレットなどの環境整備（昨年12月には小学校に40台、今年度は8月以降を目処に中学校にも40台導入予定です）を推進したり、ICT学習支援員の配置による授業づくりの支援を積極的に行ったりします。また、土曜学習（Plan・Do 塾）を充実させ、家庭学習を習慣化する支援を行います。



# 学ぶ弥彦の子～確かな学力を身に付ける～

4月28日に小学校、5月2日には中学校でそれぞれ学習参観、PTA 総会が開催されました。どの教室でも落ち着いた環境の中で、学習が進められていました。特に、子どもたちが真剣に学ぶ姿、笑顔で話し合う姿など前向きな姿がどの教室にも見られたことは教職員の日々のご努力の賜物だと思いました。何よりも、教職員からは児童生徒との信頼関係の構築を大切にして教育活動を行っていく姿勢が強く伝わってきました。



各校では、この信頼関係をベースに以下のような「確かな学力の育成を目指した取組」が行われています。小学校・中学校のグランドデザインから抜粋し一部を紹介します。

## 弥彦小学校

- 1 「分かった」「できた」の声があがる授業の確立
  - ・授業研究を通じた授業改善の推進
  - ・支援講師を活用した学習指導の充実
  - ・日々のスキルタイムの計画的運用と Web 配信テストを活用した基礎基本の定着
- 2 学習規律の定着
  - ・小・中・家庭で連携した学習習慣と学習規律の定着（時間・ルール・持ち物）
  - ・正しい「聴く・話す」態度の育成



中学校1年生英語

## 弥彦中学校

- 1 授業改革による分かる授業の推進
  - ・「授業スタンダード 10」「学び合い 10」による授業改革の徹底
  - ・自学による家庭学習の推進
  - ・指導と評価の一体化
  - ・きめ細やかな学習指導
  - ・NRT や学力検査、WEB 配信問題等の評価活用
- 2 夢や目標を意識させたキャリア教育の推進
  - ・各教科、領域をはじめとする全教育活動での基礎的・汎用的能力の育成
  - ・1年生からの進路指導の充実
  - ・「ふるさと弥彦」学習の実践と成果発信
  - ・小中の系統性を意識した体験活動の充実（「新潟っ子プラン」の自校化）
  - ・新聞を活用したキャリア教育推進
- 3 学びの環境づくりの推進
  - ・小中連携による学習規律の定着
  - ・学習方法のアドバイス等による家庭学習習慣の確立（「家庭学習の手引き」等の活用）
  - ・全校朝読書の実施

これまでも村では小学校、中学校で連携して教育に取り組んできました。今年度は、その取組を一層推進するために、新たに「小中連携協議会」と組織の名称を変え、連携を強化していこうとしています。今年度も様々な取組が計画されています。例えば、学習習慣の確立を目指して、**小中学校で6月、11月に「家庭学習強調週間」が設定されています。**このような、子どもたちの学びの土台作りは学校だけで取り組むのではなく、地域をあげて取り組んでいく必要があります。

小・中学校の先生方は自ら学ぶ力を身に付けさせたいと願って協力して取組を進めています。「やらされている」意識ではなく、学習に進んで取り組む子を村で一体となって育てていきたいものです。学校を支え、応援することは、まさに地域づくりです。今後も学校・家庭・地域の連携が一層深まるように、教育委員会としても支援していきたいと考えています。

# 第1回小中連携協議会



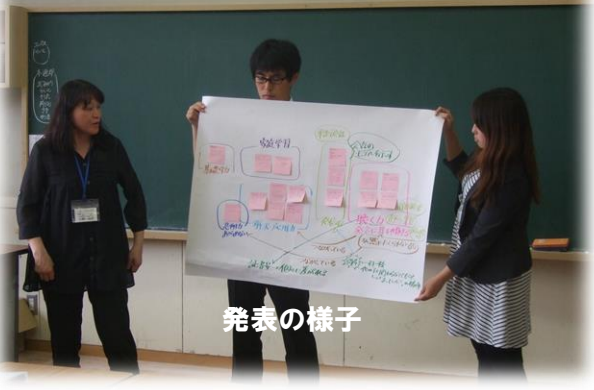
林教育長の挨拶



話し合いの様子①



話し合いの様子②



発表の様子

5月24日(水)に第1回弥彦村小中連携協議会が開催されました。教育委員会に加えて、村議会議員、学校評議員の皆様からも参加していただき、小中学校の教職員と共に弥彦村の教育について協議しました。冒頭、林教育長から村の教育の方向が説明されました。その後、「学習指導」「心の教育推進」「健康教育」の3部会に分かれて、弥彦の子どもたちにどのような『資質・能力』を身に付けさせたいかについて活発な意見交換が行われました。今後は、出てきた意見について整理し、村民の皆様とも共有していきたいと考えています。出てきた意見を見ると、「粘り強さ」「思いやり」「共感する」「他者とのかわり」などが村の子どもたちに身に付けさせたい資質・能力のキーワードになりそうです。

## 小学校教科書展示会のお知らせ

第7地区(燕市・弥彦村)教科書採択協議会の指定により、小学校道徳の教科書展示会を開催いたします。平成30年度から小学校で全面実施される「特別の教科 道徳」に向けて作成された全8社の新しい教科書が展示されます。ぜひ、実際にお手にとって御覧ください。

- 展示場所 文化会館図書室
- 展示期間 6月16日(金)～6月30日(金) 閉館日：6月26日(月)を除く毎日
- 展示時間 9:00～17:00
- その他 教科書の貸出はできませんので御了承ください。